

「霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院」による派遣研究者報告書

(当経費の支援を受けての出張後、必ずご提出ください)

平成 29 年 4 月 17 日

所属部局・職	野生動物研究センター・博士課程学生
氏名	松島 慶

1. 派遣国・場所 (〇〇国、〇〇地域)

早稲田大学、日本

2. 研究課題名 (〇〇の調査、および〇〇での実験)

第 64 回日本生態学会大会参加

3. 派遣期間 (本邦出発から帰国まで)

平成 29 年 3 月 14 日 ~ 平成 29 年 3 月 18 日 (5 日間)

4. 主な受入機関及び受入研究者 (〇〇大学〇〇研究所、〇〇博士/〇〇動物園、キュレーター、〇〇氏)

日本生態学会

5. 所期の目的の遂行状況及び成果 (研究内容、調査等実施の状況とその成果: 長さ自由)

写真 (必ず 1 枚以上挿入すること。広報資料のため公開可のもの) の説明は、個々の写真の直下に入れること。別途、英語の報告書を作成すること。これは簡約版で短くてけっこうです。

第 64 回日本生態学会大会において、「飼育下アルマジロを対象とした腸内細菌叢の網羅的解析」という題目でポスター発表を行うとともに、数カ所のシンポジウムや自由集會に参加した。各集會の内容は幅広く、私が行っている腸内細菌叢解析に直接関わる内容の講演を伺うことは出来なかったものの、将来考えている環境 DNA 解析については、数人からお話を聞くことができた。ポスター発表では、似たような解析を行っている発表から今後のアイデアを得ることができたとともに、自分と同じ若手の研究者にたくさん触れることができたことで、大変良い刺激になった。



6. その他 (特記事項など)

ポスター発表を行った研究の一部は日本学術振興会・研究拠点形成事業 (A. 先端拠点形成型)「大型動物研究を軸とする熱帯生物多様性保全研究」の助成および、文部科学省・博士課程教育リーディングプログラム「霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院」(U04) による補助を受けています。